



＝ 新しい年を迎えて ＝

明けましておめでとうございます。皆様にはおそろいでよい年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

子どもたちは、新しい年の希望を胸に、元気な姿を見せてくれました。意欲に満ちて第3学期が始められますことをたいへんうれしく思います。

ご家庭や地域の皆様方のご支援・ご協力に対しまして心よりお礼を申し上げます。

さて、第2学期の終わりに、子どもたちには「1年間をしっかりと振り返り、新しい年の目標を立て、自分自身の成長につなげましょう。」という話をし、校長室便りでも同様のお願いをしておりました。新しい年を迎え、成長した点やがんばった点を自信として、また、苦手な点や課題を明確にして、新たな目標をもち、「ようし、今年もがんばるぞ。」と前向きな気持ちや期待で胸をふくらませているのではないかと思います。子どもたちのこうした気持ちをできるだけ持続させ、新しい目標に向かって挑戦

させていくためには、私たち大人（親、教員、子ども会等の指導者など）が、その時々適切で具体的なめあてを示してやったり、助言してやったりすることが必要になってきます。子どもたちのがんばりに対して、よりよい評価をしてやるのが大切だと考えています。

今年も「たくましい琴浦南っ子」を育てていくために、担任等と連絡を取り合いながら、子どもたちへの声かけや励ましをよろしくお願ひいたします。



インフルエンザ等の感染症にご注意を！

12月には、インフルエンザの猛威により、本校においても学級閉鎖の措置をとらせていただき、保護者の皆様方にはたいへんご心配をおかけしました。県内には引き続き「インフルエンザ注意報」が出ており、3学期も流行の恐れがあります。ご家庭でも予防対策等よろしくお願ひします。

Q インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか？

① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効で、日本でもワクチン接種をする方が増加する傾向にあります。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけ、咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出る時は、できるだけマスクをすること。
- (3) 鼻汁・たんなどを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

③ 外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法で、感染症の対策の基本です。

④ 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。乾燥しやすい室内では、適切な湿度（50～60％）を保つことも効果的です。

⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取に心がけましょう。

⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、人混みや繁華街への外出を控えましょう。



【参考：厚生労働省HP】